

韓国語

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：演 習

単 位：1 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：ハングルを読み、書き、簡単なあいさつや自己紹介ができるようになること。授業を通して韓国の文化や韓国人の考え方に触れること。

■**到達目標**：①韓国語の簡単な文章や単語が書ける
②韓国語の簡単な文章や単語が読める
③韓国語で自己紹介や簡単な会話ができる

■**担当教員**：

松田 由紀

■**授業計画・内容**：

- 第1回 オリエンテーション、自己紹介のしかた
- 第2回 第1課 基本母音
- 第3回 第2課 基本子音(平音)
- 第4回 第2～3課 基本子音(平音、激音)
- 第5回 第3課 基本子音(激音)
- 第6回 第4課 基本子音のおさらい
- 第7回 第5課 濃音
- 第8回 第6課 複合母音
- 第9回 第7課 終声(下につく子音)
- 第10回 第8課～第9課 表記どおりに発音されないケース
- 第11回 ハングル全体のおさらい、韓国の歌を聴く
- 第12回 韓国文化に触れる(チマチョゴリの試着等)
- 第13回 口述テスト
- 第14～15回 第11課 「私は学生です」

■**教科書**：高島淑郎「書いて覚える初級朝鮮語」(白水社)

■**参考文献**：ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典(小学館)

■**成績評価基準と方法**：定期試験50%、出席・授業態度・発表等30%、小テストおよび口述テスト20%を目安に総合的に判断する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎		60%以上正解のこと	50
小テスト・授業内レポート	◎	○		単語テストと口述テスト	20
授業態度			○	積極的な発音	30
発表			◎	自己紹介等	
課題・作品					
出席				欠席は5回未満であること (出席数も評価の対象となる)	
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：なし

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：日頃K-POPや韓国ドラマを通じて、韓国語を耳にする機会が多いと思います。ふと聞こえてくる言葉が日本語の響きと似ていることもたまにあるでしょう。たとえば「準備」「約束」などの韓国語は日本語とほぼ同じ発音です。このように漢字からなる言葉は日本人には覚えやすいものが多くあります。また語順がほぼ日本語と同じなので、私たちには学びやすい言語と言えるでしょう。この授業では文字(ハングル)を学び、簡単な自己紹介などができるレベルの会話をマスターします。ただ文字数は大変多いので、この授業で習ったハングルを家で復習する、という作業が必要です。またDVDを使って「使える」ワンフレーズを暗記したり、韓国文化を知る意味でチマチョゴリの試着等をおこないます。